

## 松島屋資料について

松島屋家資料121点は、平成15年夏下寺家より当館へ寄贈されました。

松島屋は、安政丙辰年（1856）に、手良村（現伊那市手良）の松島家より独立して、高遠本町に白木屋「松島屋」を開業。初代徳治郎は、高遠城の閉鎖、取り壊しに際して、建物、立木の競売に落札、多方面に売りさばきました。

明治になって、出身地「下手良」に因んで苗字を「下寺」としました。

三代目下寺清は、二代目銀三郎のはじめた金物商を継ぎ、そのかたわら文学に親しみました。

松島屋資料の高遠城郭及び立木払下げ関係の文書（明治5年～6年）13点からは、高遠城の廃城過程が金銭面から覗える、貴重な資料です。

また、鉾持郷社宮繕関係資料や、高遠町在住の豊島晃氏が創刊した「美穂」27冊も含まれています。

平成16年11月  
伊那市立高遠町図書館